山家工務店の
ゆったり時間＊まったり時間
by もくもく通信
2022.4　お花見だんご号
HPへ

株式会社 山家工務店
代表取締役　山家英富
〒989-1221 宮城県栗田郡大河原町字緑町2-3
☎0224-52-6680
090-4889-3364
e-mail: yanbe@star.ocn.ne.jp
https://yanbekoumuten.com

＜山家さん、今どこやってんの？＞

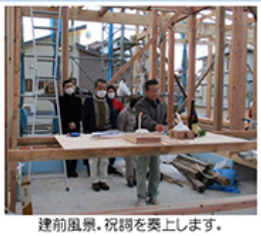
大きな地震の後でしたが、確認しながら丁寧に建て方を進めました☆

＊大河原町・A様＊


気を付けながら
建て方をしていきます。


建て方風景


棟札、雛箱、小屋裏から
建築の神様達が見守ってくれます。


建前風景。祝詞を奏上します。


瑕疵保険会社による検査、基準を満たしているか確認しています。


宮城県による構造検査、構造耐力上問題がないか、図面通り施工されているか確認しています。

＊大河原町・I様＊

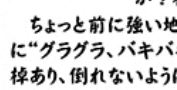
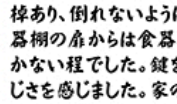

一年前の地震で壁の化粧板が飛んだり、歪んでいました。


壁を撤去し下地を入れ直し構造用合板で補強しました。

この後に16日の
地震がありました


明るく強くなりました！
地震の被害もありませんでした(＊^^＊)



こんにちは山家工務店　山家です。

3月16日水曜日 23:36、福島県沖を震源とするM7.4 最大震度6強のすごく強い地震が起きました。皆さん大丈夫だったでしょうか？私は翌日の建前に備え早めに就寝していました。

ちょっと前に強い地震があり、収まったかなぁと思ったら“タタタタッ”という音とともに“グラグラ、バキバキ”とすごい揺れが襲ってきました。私は寝ている隣に箪笥が2棹あり、倒れないように1年前と同じく必死で押えていました。ロックしていなかった食器棚の扉からは食器等がおち、仕事部屋の棚は崩れて入口の引き戸もなかなか開かない程でした。鍵をかけていた玄関戸や縁側のサッシは空いており地震のすさまじさを感じました。家の周りを確認後、就寝といきたいところでしたがなかなか寝付けませんでした。

翌日は早朝から電話があり被害にあわれたお客様のところに顔出ししました。何せこの日は建前です。建て方をしながら電話対応や抜けられるタイミングでお客様のところへ行ったりしましたが、何とか無事に建前を終えることができました。1年前問い合わせが多かった耐震ロックの件は1件もなくニュースレター見ていただいているなぁと嬉しくもありました。(^^)v

地震のあと、早速瓦がずれていますよという、飛び込みの営業が始まりました。瓦やさんは混んでいるので残念ながらすぐには修理できません。早く直されたい方は気を付けてください。見てもらいたいところがある、相談があるんだけどという方は連絡をお願いします。(#^.^#)

ニュースレターが届いているころには桜が見頃でしょうか。今年も大勢で酒宴とはいきませんが、コロナに気を付けながら楽しみましょう。今月も体調に気をつけ頑張っていきましょう！



たくさんの食器が落ちました

山家さんの仕事部屋

あとがき＊　みなさん、こんにちは。先日の地震は、怖かったですね。結局布団を被ってじっとしているしかなかったSですが、平屋のためか被害は最小限でした(＊^^＊)ほっ。みなさんは、大丈夫でしたか？？ところで、今月の後半にモデルハウスで開催予定のワークショップについて、お知らせにご案内させていただきました。ハンドメイドのイベントで知り合った、素敵なビーズ作家さんとビーズのブローチを作ります♪参加費は、かかりますが納得の仕上がりになると思いますよ☆(3000円のところ、山家工務店が1000円負担します！)よかったら、ぜひご参加くださいね S

ブログ（現場日誌）も見てね♪

只今、会社案内のパンフレット制作中です（＊^^＊）

もうじき完成予定です♪お楽しみに～♪♪♪♪♪♪

山家工務店には、会社案内のパンフレットがありませんでした。

これまでは、完成見学会やモデルハウスを中心に山家工務店や山家さんのことをみなさんにお伝えしてきましたが、山家さんの家づくりに対する思いや、それがカタチになった山家工務店の家をもっとお伝えできることはないかと思い、見学会の後に家でゆっくりと見て考えることができるパンフレットを制作することにしました。内容を検討し始めてから、時間がかかりましたが、先日、山家工務店の家づくりに関するコンセプトも決まり、ようやく完成に近づいてきました(＊^^＊)パンフレットに掲載する写真のモデルになっていただいたお客様、ご協力本当にありがとうございました☆

今月のニュースレターでは、プロのカメラマンさんに撮影していただいた時の様子をご紹介します♪ホームページの想いのカタチ(施工事例)に撮影した時の様子があります。こちらも見てくださいね！


山家さんも嬉しそう☆
カメラの構えがかっこいい～


ほんもののモデルさんみたいな自然な笑顔が素敵☆


とってもいい笑顔です♪


高性能のカメラで撮ると、こんなに広い範囲を画面に入れることができるんですね～


途中、打合せを挟みながら♪


ワクワク♪


こんな距離感で撮影してくれているんですね(＊^^＊)


何かあればなんでも撮りますよ～と言われて(^^♪


オフショット(＊^^＊)



この撮影は、昨年の冬12月のことでした♪初めてのことで、山家さんもちょっと緊張？？どきどきワクワクしていましたね(笑)お客様の声は、パンフレット以外にも見学会の時にお渡しする冊子やホームページにも掲載させて戴いております。この後もお客様の声や施工事例にみなさまのおうちをご紹介させていただけたらと思っておりました。応援していただけましたら嬉しく思います。これからもどうぞよろしくお願いいたします☆

＜富吉さんの努力のカタチ（資格編）＞

山家工務店の歴史コラム

若いころから人一倍仕事をし、努力を続けていた富吉さん。若いころは、技術を極めるために、がむしゃらに働きました。出稼ぎに行っていた時には、現場の休みに宮大工さんの現場を見に行くほど、宮大工に憧れ、宮大工の技術を書籍で勉強するほどでした。



そんな富吉さんが大工を育てる立場になったとき、自分の腕には自信があったものの、それが実際にはどのくらいなのか、教えるための技術を確かめるため、そしてさらなる技術の向上を目指して、仕事の合間に勉強して職業訓練指導員の免許を取得しました。富吉さん34歳（昭和44年8月）のことでした。この免許は、建築大工の部門で職業訓練校の先生になれる免許です。この資格で、名実ともに先生になれるようになったので、その時からお弟子さんを育てるようになったそうです。昔は中学校を卒業したお弟子さんが、住み込みで働いて技術を学ぶのが一般的でした。見習い期間は通常5年。それ以降は、大工と名乗っていいというルールがあったそうです。若いうちから親元を離れての修業は大変そうですね。・・・次第に住み込みという働き方はなくなり、最後のお弟子さんが卒業したのが、昭和50年。山家さんが小4の頃でした。「そういえば、小5から自分の部屋をもらえて、嬉しかったんだよね～。そのうち部屋を改造したなあ。」という山家さん。これは子供らしい気持ちですね♪

その後は、お弟子さんも通いになって、職業訓練校を卒業してから、弟子に入るようになったそうです。今、山家工務店を支えてくれている職人さんもその頃に入ってきたそうですが、今よりもずっと厳しかった富吉さんに長年育てられた職人さん達。今では腕も一流ですね！ここまでくるまでの根性も凄いなあと思います。職人さん達のおかげで、今の山家工務店があるんだなあとも感じました。

続きは次号へ



＊山家工務店からのお知らせ＊

これを一つ作ります！→



■4月24日(日)に、モデルハウスにてビーズのブローチをつくるワークショップの開催を予定しています。参加してみたい方は、4月12日までにご連絡くださいね。参加費用は2000円になります。詳しくはお問合せください！